

# 2年生 第1回 国際理解講演会（国際理解コース対象）

令和4年9月29日(木)



「人の役に立ちたい!」、「海外とかかわりをもって活動したい!」

そんな思いを高校時代からずっともっている卒業生がいる。上垣外紗英（かみがいと さえ）さんだ。彼女は、大阪市に本社をもつ株式会社 ECC 総合教育研究所に勤務。当日は大阪からお越しいただき、2年生国際理解コース生徒対象に講演会を開催した。今回の講演では、英語との出会いに始まり、高校、大学、そして社会人など、それぞれの時代に自分が置かれていた状況や考え方について、示唆に富む話を聴くことができた。以下、時系列でその内容を紹介する。

## 1 3歳で近所の英会話教室へ → 英語でコミュニケーションがとれる → 英語が大好きに!

自分とは全く違う人と、全く違う言葉で話すのはとても楽しい!

## 2 高校時代は英単語を覚えることが楽しい → 英語好きを確信!

2年次に学校の豪州研修にワクワクして参加。現地の小中学生にサンドイッチにされ（はさまれ）英語でまくしたてられ、「ちょっと何言ってるか分からない・・・」と一度は挫折する。

## 3 将来の自分を思い描く → 人の役に立つことがしたい、海外とかかわる活動がしたい

受験勉強では、塾に行かず学校の授業や補習を最大限活用。授業の課題は、質・量とも8割から9割をしっかりとこなすこと、と力説。どのように学習したら記憶に残るか工夫すること、とも。



### 高校入学後...

1年生：ターゲット1900の勉強が楽しかった  
→新しい単語を覚えることで自分が書えることが増える!嬉しい!

2年生：オーストラリアでホームステイ  
→初めての英語圏訪問。わくわくが止まらない。

3年生：“海外と関わりたい”、“留学をしたい”を軸に大学受験勉強  
→大学決め。目標が定まったら、あとは勉強のみ!

### 受験勉強

- \* 課題は高校の課題を8~9割しっかりこなす
- \* 暗記系は、コツコツが大切
- \* 自分の勉強パターンを知る

## 4 大学の勉強と国際留学生会館での活動 → 英語が世界を広げてくれた

留学生が、慣れない国でサポートを受けたという感謝を表してくれる喜び。一方で自分としては苦勞しながらも様々な国の人とコミュニケーションをとれたという自信。これがイギリス・ニューカッスル大学交換留学生へとつながる。また海外訪問国はヨーロッパ中心に22カ国にも。

### 国際留学生会館

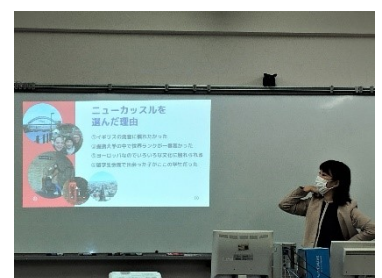
施設概要：愛知県内の大学などで学ぶ留学生が約100人暮らす宿泊施設。留学生が日本で暮らすのに必要な情報を提供。

活動期間：2015年10月~2016年8月（留学前）  
2017年8月~2019年3月（留学後）の計2年半

きっかけ：大学の掲示板に募集を見て応募  
→チューターとして活動

### かけがえのない繋がり

出会った留学生の出身地：  
イギリス、フランス、ドイツ、韓国、中国、台湾、ブラジル、ペルー、スペイン、リトアニア、インドネシア など



## 5 就職活動では複数の企業からの内定 → 企業理念に最も共感ができた ECC に

「人の役に立つ」、「海外とのかかわり」に加え、「なくならない業界（=教育）」という観点で決定。大学時代に自分が感じた「英語で世界が広がる!」を、多くの人に伝えていきたい、と。

## 6 Q：生徒からの質問「実際に留学するとき不安はありませんでしたか？」

A：ありません。したいことをしなかった後悔のほうが大きい。不安があるからやめる、では前に進まない。それでは経験にならない。自分が本当にしたいことならするべき。それにより新しい自分が見えてくる。そうした行動力は大切と思う。もちろんそれに伴う責任も大切。